

2023 年第 40 週(10 月 2 日~10 月 8 日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2023 年（令和 5 年）10 月 11 日作成

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆名古屋市の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者報告数

本市における 2023 年第 40 週（10 月 2 日～10 月 8 日）の市内 70 定点医療機関からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者報告数は 418 人で、定点あたり報告数は、5.97 人となり、前週比 0.56 倍に減少しました。

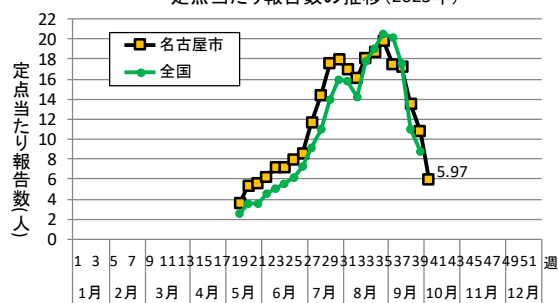
患者報告数および定点あたり報告数(名古屋市:2023年)

	第19週 (5/8 ～ 5/14)	第20週 (5/15 ～ 5/21)	第21週 (5/22 ～ 5/28)	第22週 (5/29 ～ 6/4)	第23週 (6/5 ～ 6/11)	第24週 (6/12 ～ 6/18)	第25週 (6/19 ～ 6/25)	第26週 (6/26 ～ 7/2)	第27週 (7/3 ～ 7/9)	第28週 (7/10 ～ 7/16)	第29週 (7/17 ～ 7/23)	第30週 (7/24 ～ 7/30)	第31週 (7/31 ～ 8/6)	第32週 (8/7 ～ 8/13)	第33週 (8/14 ～ 8/20)	第34週 (8/21 ～ 8/27)	第35週 (8/28 ～ 9/3)
患者報告数(人)	253	377	397	433	505	509	556	604	816	1011	1229	1261	1188	1128	1270	1314	1390
定点あたり報告数(人)	3.61	5.39	5.67	6.19	7.21	7.27	7.94	8.63	11.66	14.44	17.56	18.01	16.97	16.11	18.14	18.77	19.86

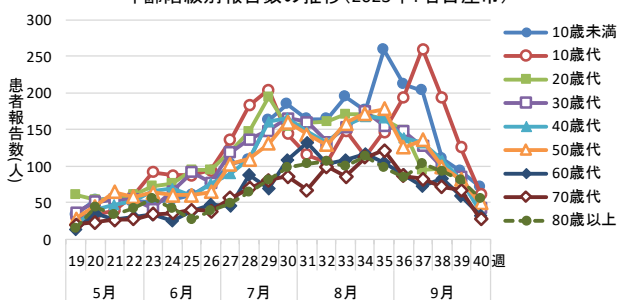
[illegible]

※報告数は速報値でありその後の訂正などにより、変更される場合があります

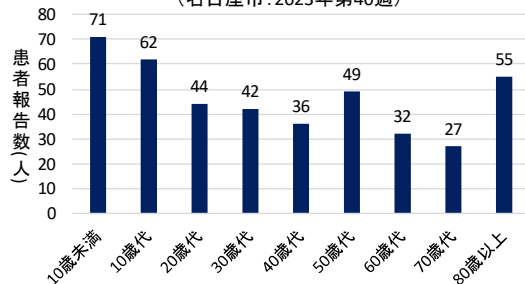
定点当たり報告数の推移(2023年)



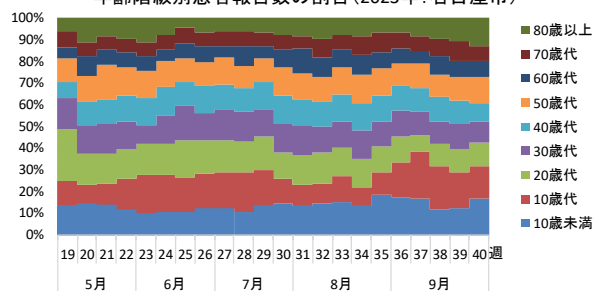
年齢階級別報告数の推移(2023年:名古屋市)



年齢階級別患者報告数
(名古屋市:2023年第40週)



年齢階級別患者報告数の割合(2023年:名古屋市)



- ・ 新型コロナウイルス感染症について（名古屋市）

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 咽頭結膜熱が増加し、前週比 1.3 倍になりました。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加し、前週比 1.2 倍になりました。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2023 年 第 40 週	2 類	結核	14	男性、98 歳、肺結核 女性、85 歳、肺結核 男性、69 歳、肺結核 男性、92 歳、肺結核 女性、92 歳、肺結核 女性、81 歳、肺結核 女性、97 歳、肺結核 男性、81 歳、肺結核 男性、73 歳、肺結核 女性、74 歳、肺結核及び結核性胸膜炎 女性、47 歳、無症状病原体保有者 女性、23 歳、無症状病原体保有者 男性、69 歳、無症状病原体保有者 男性、46 歳、無症状病原体保有者
2023 年 第 40 週	4 類	レジオネラ症	2	男性、83 歳、肺炎型、感染地域：愛知県 男性、77 歳、肺炎型、感染地域：愛知県
2023 年 第 40 週	4 類	日本紅斑熱	1	女性、63 歳、感染地域：豊田市
2023 年 第 40 週	5 類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 感染症	3	男性、81 歳、菌検出検体：膿、菌種： <i>Citrobacter braakii</i> 、感染原因：以前からの保菌（保菌部位： 胆道） 男性、76 歳、菌検出検体：喀痰、菌種： <i>Enterobacter cloacae complex</i> 、感染原因：不明 男性、74 歳、菌検出検体：尿、菌種： <i>Providencia rettgeri</i> 、感染原因：不明

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2023 年 第 40 週	5 類	急性脳炎	1	女性、10 歳、病原体不明
2023 年 第 40 週	5 類	梅毒	7	男性、24 歳、早期顕症梅毒 1 期 女性、21 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、41 歳、早期顕症梅毒 1 期 女性、23 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、25 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、34 歳、早期顕症梅毒 2 期 男性、78 歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2023 年 第 39 週	5 類	後天性免疫不全症候群（H I V 感染症を含む）	1	男性、24 歳、無症状病原体保有者、感染経路：同性間性的接触、感染地域：国内
2023 年 第 39 週	5 類	梅毒	3	男性、52 歳、早期顕症梅毒 2 期 男性、34 歳、早期顕症梅毒 2 期 男性、24 歳、無症状病原体保有者
2023 年 第 37 週	2 類	結核	1	女性、67 歳、無症状病原体保有者
2023 年 第 37 週	5 類	梅毒	2	男性、62 歳、早期顕症梅毒 2 期 男性、54 歳、早期顕症梅毒 2 期

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

〔2023 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	324（122）
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和 2 年 1 月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。） ※令和 5 年 5 月 7 日まで。	77775
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	55（11）
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	2（1）
4 類感染症	デング熱	5
4 類感染症	A 型肝炎	1
4 類感染症	E 型肝炎	4
4 類感染症	エムポックス	2
4 類感染症	マラリア	2
4 類感染症	レジオネラ症	27
4 類感染症	日本紅斑熱	1
5 類感染症	ウイルス性肝炎	5
5 類感染症	アメーバ赤痢	10
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	43
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	11
5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	3
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18

NIDWR

Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

5 類感染症	後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）	63（48）
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	12
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	31
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	4
5 類感染症	梅毒	382（108）
5 類感染症	百日咳	7

累計は 2023 年第 1 週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、
 【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候
 群の「その他」累計数を再掲。対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。
 （報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

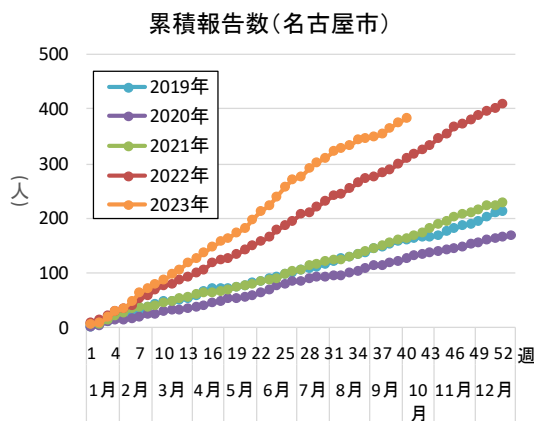
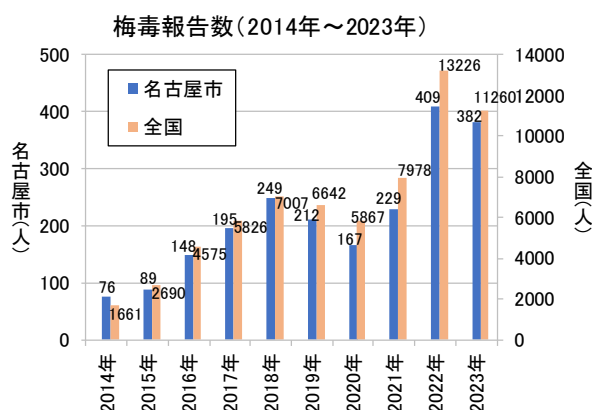
〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ A 型 11 名でした	定点医療機関（千種区）
インフルエンザはすべて A 型	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 11 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザはすべて A 型	定点医療機関（中村区）
ヒトメタニューモウィルス感染今週は 5 人でした。軽症の手足口病が一部の園ではやっています。	定点医療機関（中区）
インフル A 型 7 名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザ A=1 人@COVID-19 =4 人	定点医療機関（緑区）

〔名古屋市の梅毒報告数〕

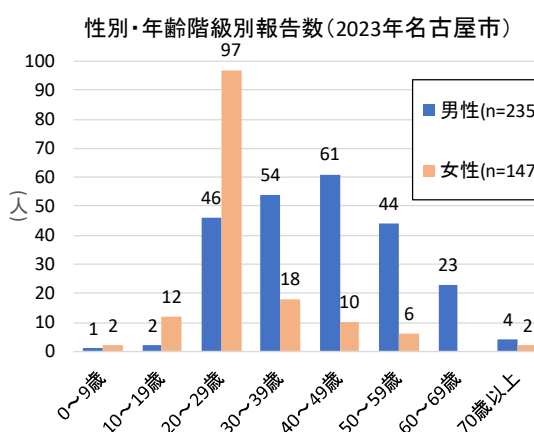
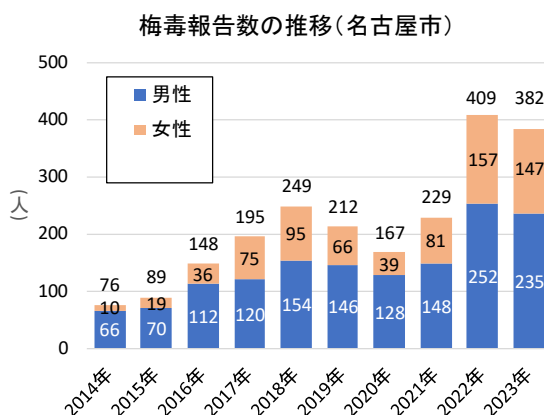
- 近年、梅毒の患者報告数が全国的に増加しており、本市においても2023年（令和5年）の報告数は、1999年以降で最多となった昨年と同週比で上回るペースで増加しています。
- 2023年第40週（10月8日）までに本市では382人の患者が報告されており、男性では20～50歳代で多く、女性では20歳代で特に報告数が増加しています。
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



梅毒報告数の推移

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
名古屋市	76	89	148	195	249	212	167	229	409※3	382※1
全国	1661	2690	4575	5826	7007	6642	5867	7978	13226※3	11260※2

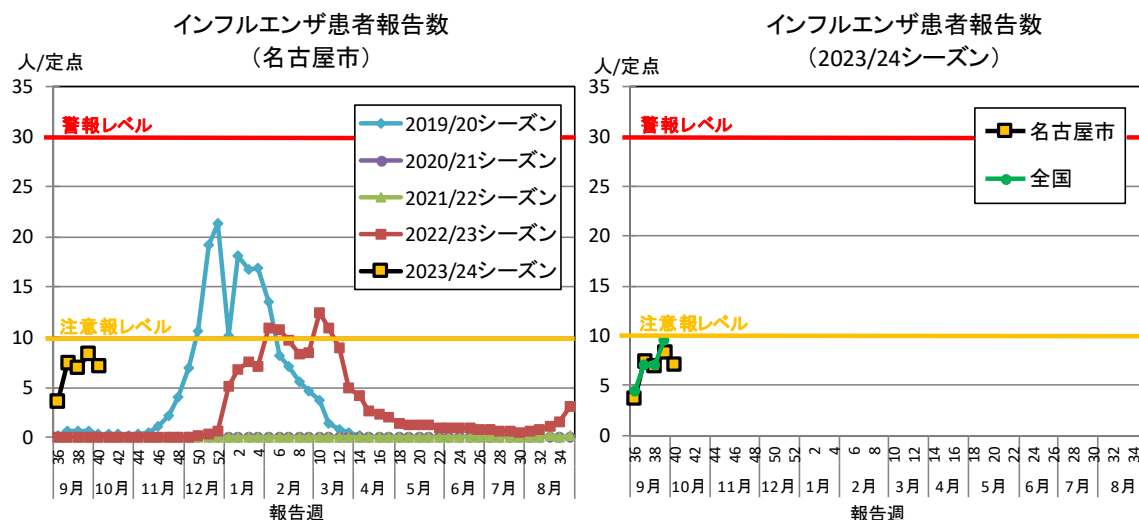
※1 第40週(10月8日)まで ※2 第39週(10月1日)まで ※3 報告数は速報値



〔トピックス：インフルエンザ（2023/24 シーズン）〕

- 本市における 2023 年第 40 週（10 月 2 日～10 月 8 日）の市内 70 定点からのインフルエンザ患者報告数は 503 人、定点当たり患者報告数は 7.19 人で前週比 0.86 倍に減少しました。
- 本市において集団かぜ（インフルエンザ様疾患）による学級閉鎖等の措置が実施された施設数は、令和 5 年 9 月 4 日以降 10 月 10 日までに 169 施設報告されており、過去の同時期と比較して多く報告されています。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。
- 感染後、1 日から 3 日程度の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、咳、鼻水等の上気道炎症状が現れます。1 週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。高齢者や乳幼児などは重症化することがあるので、特に注意が必要です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数：2023 年 10 月 11 日作成〕



定点当たり患者報告数の推移

	第33週 (8/14～ 8/20)	第34週 (8/21～ 8/27)	第35週 (8/28～ 9/3)	第36週 (9/4～ 9/10)	第37週 (9/11～ 9/17)	第38週 (9/18～ 9/24)	第39週 (9/25～ 10/1)	第40週 (10/2～ 10/8)
名古屋市 (2023年)	1.13 [79]	1.57 [110]	3.09 [216]	3.70 [259]	7.43 [520]	6.96 [487]	8.37 [586]	7.19 [503]
愛知県	0.95	1.64	2.97	4.89	9.55	8.54	9.51	—
全国	1.01	1.40	2.56	4.48	7.03	7.09	9.57	—
名古屋市 (2022年)	0.19	0.04	0.13	0.07	0.03	0.00	0.03	0.00

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準

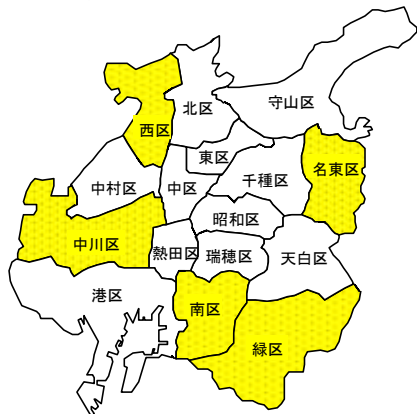
※報告数は各週公表時における速報値

※[]内は名古屋市内70定点からの患者報告数

各区の患者報告数(第40週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの患者報告数(人)	30	22	27	55	42	32	19	8	15	48	21	40	31	45	45	23	503
定点当たり患者報告数(人)	6.0	5.5	5.4	13.8	8.4	8.0	3.8	1.6	3.8	12.0	5.3	10.0	6.2	11.3	11.3	5.8	7.19

インフルエンザ



注意報警報レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	
注意報レベル	
警報レベル	

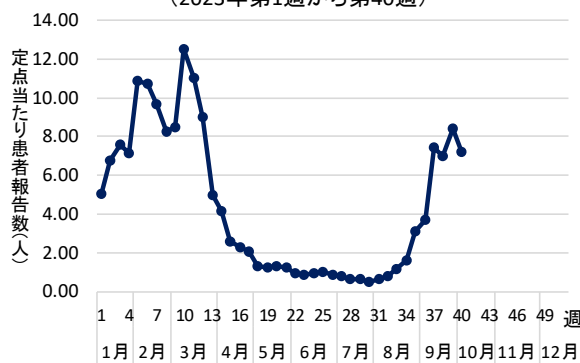
注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル	警報レベル	
基準値	開始基準値	終息基準値
10	30	10

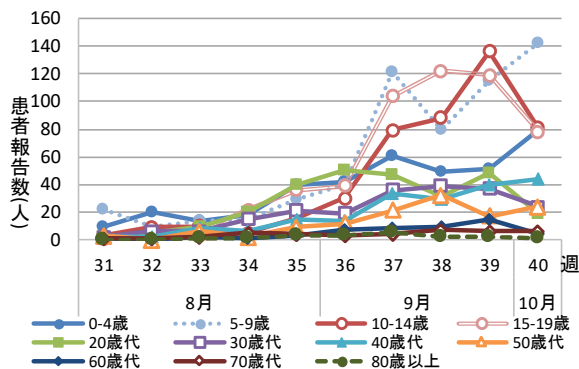
注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合
警報レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、10未満となるまで

年齢階級別患者報告数

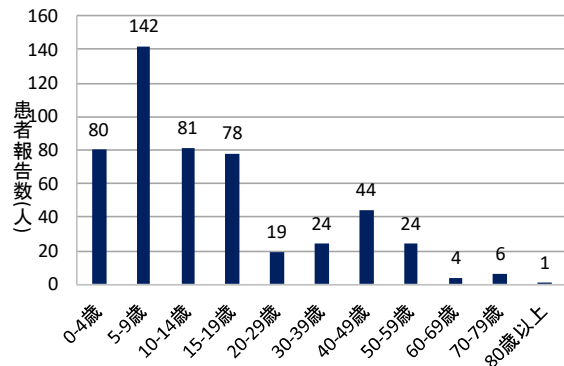
定点当たり患者報告数の推移
(2023年第1週から第40週)



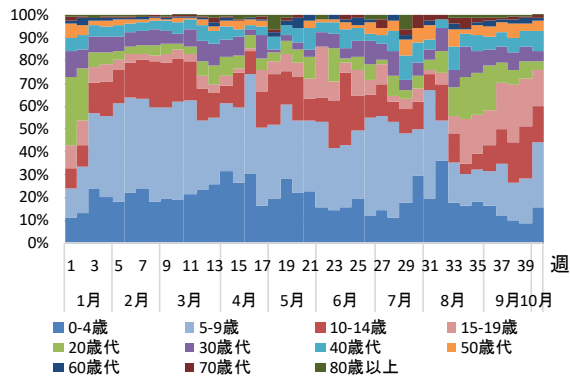
年齢階級別患者報告数の推移



年齢階級別患者報告数(第40週)

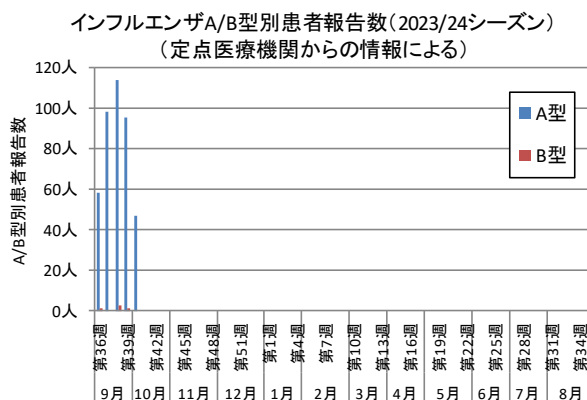


年齢階級別患者報告数の割合

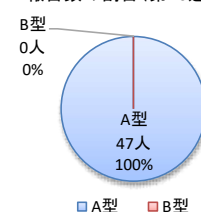


インフルエンザA/B型別流行状況

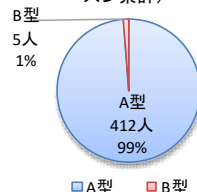
インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2023/24シーズンは、インフルエンザA型412人、インフルエンザB型5人がこれまでに報告されています。



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(第40週)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(2023/24シーズン累計)



〔インフルエンザ関連リンク〕

- ・インフルエンザ情報（名古屋市）
<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-9-0-0-0-0-0-0.html>
- ・インフルエンザ（総合ページ）（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html
- ・インフルエンザウイルス分離・検出状況（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>



◆2023 年第 40 週 患者報告数（疾病区別）、定点あたり患者報告数（疾病区別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2023年第40週（2023年10月2日～10月8日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比※
★ インフルエンザ	30	22	27	55	42	32	19	8	15	48	21	40	31	45	45	23	503	0.9	
★ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	24	18	26	37	38	21	37	24	9	57	16	29	20	26	11	25	418	0.6	
○ RSウイルス感染症												1		1	2		4	0.5	1.7
○ 咽頭結膜熱	8	7	4	4		13			1	22		5	5	6	27		102	1.3	51.0
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	8	3	19	2	19	2		2	5	1	8	9	4	31	2	122	1.2	6.7
○ 感染性胃腸炎	6	1	12	14	13	3	2			9	7	5	7	19	11	5	114	1.0	1.3
○ 水痘												1		1	1		3	0.6	1.1
○ 手足口病	6	1				1			2	3		1	4	1	2		21	0.8	0.6
○ 伝染性紅斑		2				3											5		
○ 突発性発疹	2			1		1			1				1	1	1		8	0.8	0.7
○ ヘルパンギーナ				3						3							6	0.4	0.2
○ 流行性耳下腺炎				1		2						1					4	2.0	3.0
△ 急性出血性結膜炎																	0		
△ 流行性角結膜炎	2						1							3			6	2.0	6.0
◇ 細菌性髄膜炎																	0		
◇ 無菌性髄膜炎																	0		
◇ マイコプラズマ肺炎																	0		0.0
◇ クラミジア肺炎																	0		
◇ 感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0		
計	85	59	72	134	95	95	61	32	30	147	45	91	77	107	131	55	1316		
※過去3年の同週の平均値との比																			
★ インフルエンザ/COVID-19定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△ 小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○ 眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇ 基幹定点数			1				1			1							3		
★○△◇は定点種別を示す。セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。																			

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2023年第40週（2023年10月2日～10月8日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
★ インフルエンザ	6.0	5.5	5.4	13.8	8.4	8.0	3.8	1.6	3.8	12.0	5.3	10.0	6.2	11.3	11.3	5.8	7.19
★ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）																	5.97
○ RSウイルス感染症												0.3		0.3	0.5		0.06
○ 咽頭結膜熱	1.6	1.8	0.8	1.0		3.3			0.3	5.5		1.3	1.0	1.5	6.8		1.46
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.4	2.0	0.6	4.8	0.4	4.8	0.4		0.5	1.3	0.3	2.0	1.8	1.0	7.8	0.5	1.74
○ 感染性胃腸炎	1.2	0.3	2.4	3.5	2.6	0.8	0.4			2.3	1.8	1.3	1.4	4.8	2.8	1.3	1.63
○ 水痘												0.3		0.3	0.3		0.04
○ 手足口病	1.2	0.3				0.3			0.5	0.8		0.3	0.8	0.3	0.5		0.30
○ 伝染性紅斑		0.5				0.8											0.07
○ 突発性発疹	0.4			0.3		0.3			0.3				0.2	0.3	0.3		0.11
○ ヘルパンギーナ				0.8						0.8							0.09
○ 流行性耳下腺炎				0.3		0.5						0.3					0.06
△ 急性出血性結膜炎																	
△ 流行性角結膜炎	2.0						1.0							3.0			0.55

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	—	—	—
RSウイルス感染症	—	—	—
咽頭結膜熱	3	1	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—
感染性胃腸炎	20	12	—
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	—
伝染性紅斑	2	1	—
突発性発疹	—	—	—
ヘルパンギーナ	6	2	—
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	—
流行性角結膜炎	8	4	—

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

* 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の区別定点あたり患者報告数は計上しておりません。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2023年第40週(2023年10月2日～10月8日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	1	3	8	16	22	30	24	35	27	21	35	81	78	19	24	44	24	4	6	1
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	8	4	12	5	2	6	4	4	9	10	7	37	25	44	42	36	49	32	27	55

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	1			2	1									
咽頭結膜熱		3	11	9	22	24	12	10	6	2		1		2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	3	8	10	15	16	14	20	7	7	10	4	7
感染性胃腸炎	3	6	10	15	9	7	7	7	5	2	9	3	22	
水痘				1						2				
手足口病		1	5	6	1	1	6	1						
伝染性紅斑			4					1						
突発性発疹		1	7											
ヘルパンギーナ				1	2	1	1							1
流行性耳下腺炎			1				1	1				1		

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎														1	4	1			

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

患者報告数および定点あたり患者報告数の推移(名古屋市)

疾病名/調査週		第31週 (7/31～ 8/6)	第32週 (8/7～ 8/13)	第33週 (8/14～ 8/20)	第34週 (8/21～ 8/27)	第35週 (8/28～ 9/3)	第36週 (9/4～ 9/10)	第37週 (9/11～ 9/17)	第38週 (9/18～ 9/24)	第39週 (9/25～ 10/1)	第40週 (10/2～ 10/8)
インフルエンザ	患者報告数	46	56	79	110	216	259	520	487	586	503
	定点あたり患者報告数	0.66	0.80	1.13	1.57	3.09	3.70	7.43	6.96	8.37	7.19
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	患者報告数	1188	1128	1270	1314	1390	1221	1206	947	753	418
	定点あたり患者報告数	16.97	16.11	18.14	18.77	19.86	17.44	17.23	13.53	10.76	5.97
RSウイルス感染症	患者報告数	68	38	25	14	16	11	6	4	8	4
	定点あたり患者報告数	0.97	0.54	0.36	0.20	0.23	0.16	0.09	0.06	0.11	0.06
咽頭結膜熱	患者報告数	29	26	40	24	37	43	71	48	78	102
	定点あたり患者報告数	0.41	0.37	0.57	0.34	0.53	0.61	1.01	0.69	1.11	1.46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	患者報告数	61	62	62	60	65	92	83	58	103	122
	定点あたり患者報告数	0.87	0.89	0.89	0.86	0.93	1.31	1.19	0.83	1.47	1.74
感染性胃腸炎	患者報告数	122	104	86	96	121	122	118	109	119	114
	定点あたり患者報告数	1.74	1.49	1.23	1.37	1.73	1.74	1.69	1.56	1.70	1.63
水痘	患者報告数	4	2	2	4	4	1	2	1	5	3
	定点あたり患者報告数	0.06	0.03	0.03	0.06	0.06	0.01	0.03	0.01	0.07	0.04
手足口病	患者報告数	9	8	4	12	20	14	21	19	27	21
	定点あたり患者報告数	0.13	0.11	0.06	0.17	0.29	0.20	0.30	0.27	0.39	0.30
伝染性紅斑	患者報告数	1	1	1	1	0	1	0	1	0	5
	定点あたり患者報告数	0.01	0.01	0.01	0.01	0	0.01	0	0.01	0	0.07
突発性発疹	患者報告数	3	4	6	10	8	11	4	10	10	8
	定点あたり患者報告数	0.04	0.06	0.09	0.14	0.11	0.16	0.06	0.14	0.14	0.11
ヘルパンギーナ	患者報告数	145	80	46	40	46	27	21	4	17	6
	定点あたり患者報告数	2.07	1.14	0.66	0.57	0.66	0.39	0.30	0.06	0.24	0.09
流行性耳下腺炎	患者報告数	2	2	3	6	5	2	3	0	2	4
	定点あたり患者報告数	0.03	0.03	0.04	0.09	0.07	0.03	0.04	0	0.03	0.06
急性出血性結膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	患者報告数	4	4	1	8	9	9	9	2	3	6
	定点あたり患者報告数	0.36	0.36	0.09	0.73	0.82	0.82	0.82	0.18	0.27	0.55
細菌性髄膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0.67	0	0	0
無菌性髄膜炎	患者報告数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0.67	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

◆入院サーベイランス

基幹定点医療機関（市内 3 医療機関：北区、昭和区、中川区）より、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の発生状況が毎週報告されています（新型コロナウイルス感染症については 2023 年第 39 週から実施）。

年齢階級別入院患者報告数（2023年第40週（10月2日～10月8日））

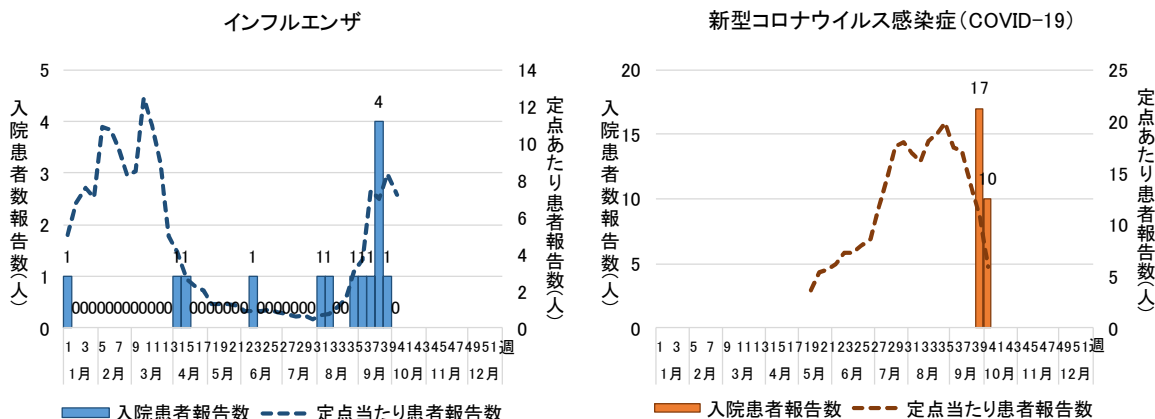
	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	4	10

年齢階級別入院患者報告数（2023年累積）

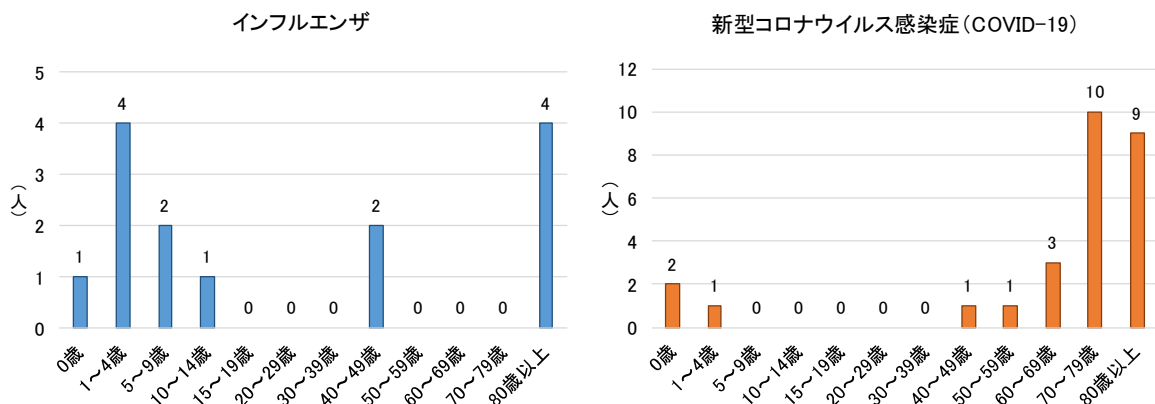
	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	1	4	2	1	0	0	0	2	0	0	0	4	14
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	2	1	0	0	0	0	0	1	1	3	10	9	27

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は2023年第39週から実施

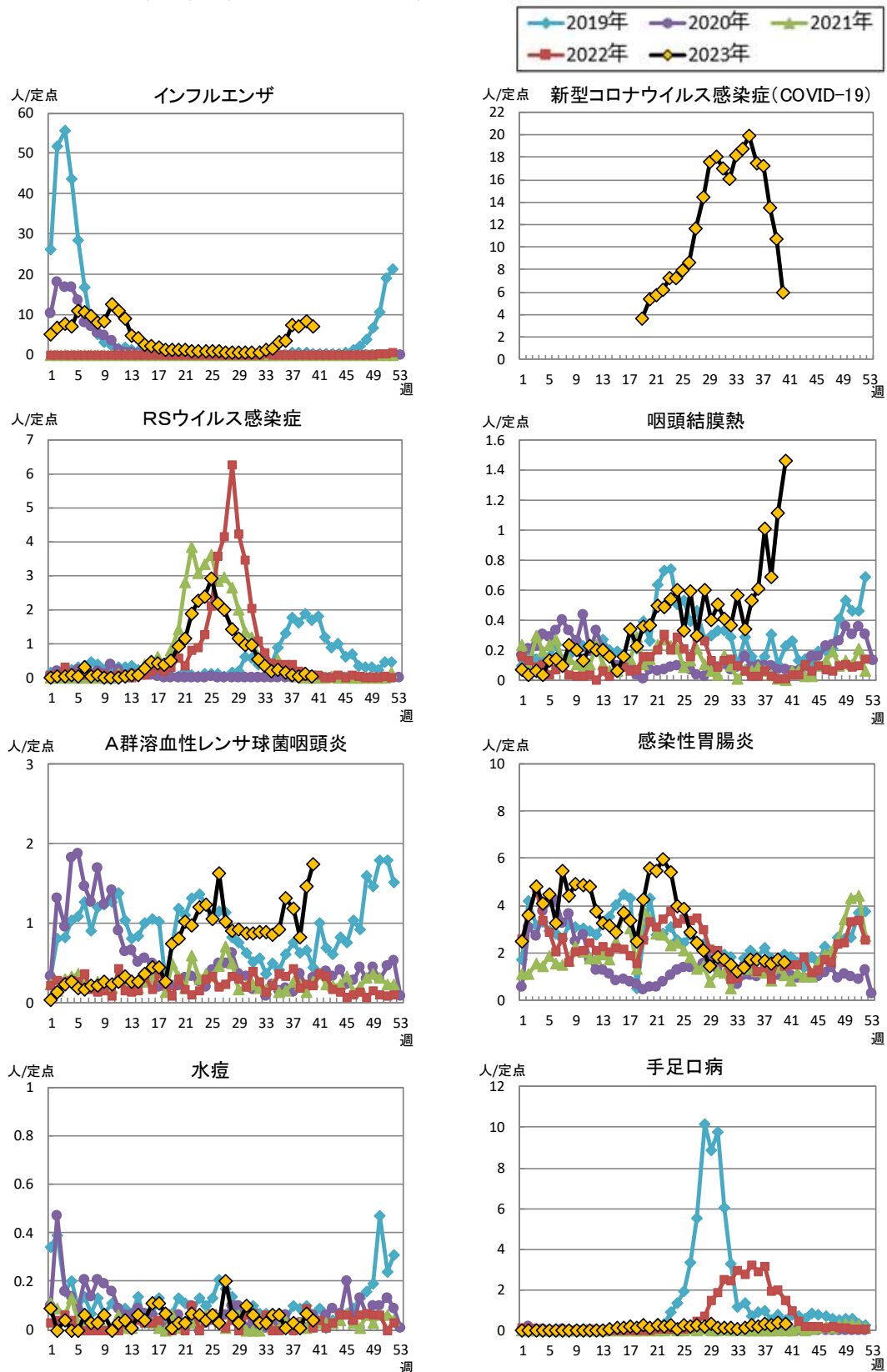
入院患者報告数および定点あたり患者報告数の推移（2023年）



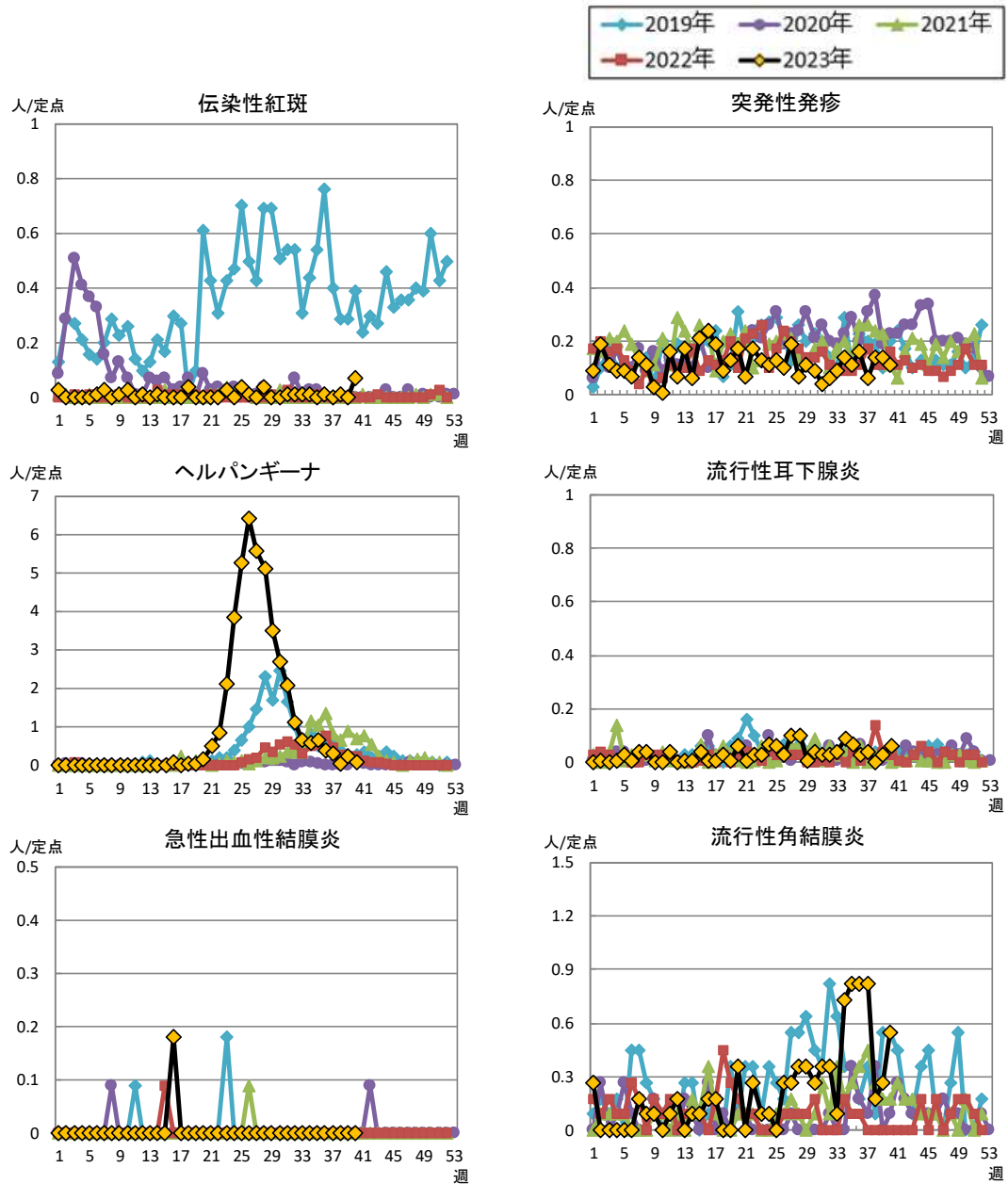
年齢階級別入院患者報告数（2023年累積）



◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点医療機関からの
定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2023年第40週まで



◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2023年第40週まで



NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2023 年9月分〕

基幹定点数：3（北区、昭和区、中川区）

表1.基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2023年9月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3		10	13
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	3	0	10	13

表2.基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2023年9月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			1	1	1	2		5	1	2	13
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症											0
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	0	0	1	1	1	2	0	5	1	2	13

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2023 年9月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別でみると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスウイルス感染症の順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性174人、女性は60人でした。（表2、図1参照）

2023 年 9 月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症では15歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。また尖圭コンジローマでは20歳から49歳および55歳以上の年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は0歳から34歳および40歳から44歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は15歳から29歳および35歳以上の年齢階級で報告がありました。また尖圭コンジローマでは20歳から39歳および45歳から49歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は15歳から24歳および50歳から54歳の年齢階級で報告がありました。

（表2、図2参照）

表1. 性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2023年9月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	4		25		4	42	5			21	8			6	2		117
性器ヘルペスウイルス感染症			6	1		22	6	1		2	2					2	42
尖圭コンジローマ			6		5	10	2			8							31
淋菌感染症	2		9		6	8	2			14	1			1	1		44
計	6		46	1	15	82	15	1		45	11			7	3	2	234

STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
--------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2. 性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2023年9月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		3	29	22	11	10	3	3	3	4	88
	女性	1	11	11	3	2		1				29
性器ヘルペスウイルス感染症	男性		1	1	7	2	1	3	2	2	4	23
	女性		1	3	4		1	3	2	3	2	19
尖圭コンジローマ	男性			4	5	4	1	3	4		3	24
	女性			2	1	2	1		1			7
淋菌感染症	男性		1	12	7	6	6	1	2	3	1	39
	女性		2	2						1		5
計	男性		5	46	41	23	18	10	11	8	12	174
	女性	1	14	18	8	4	2	4	3	4	2	60

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2023年9月)

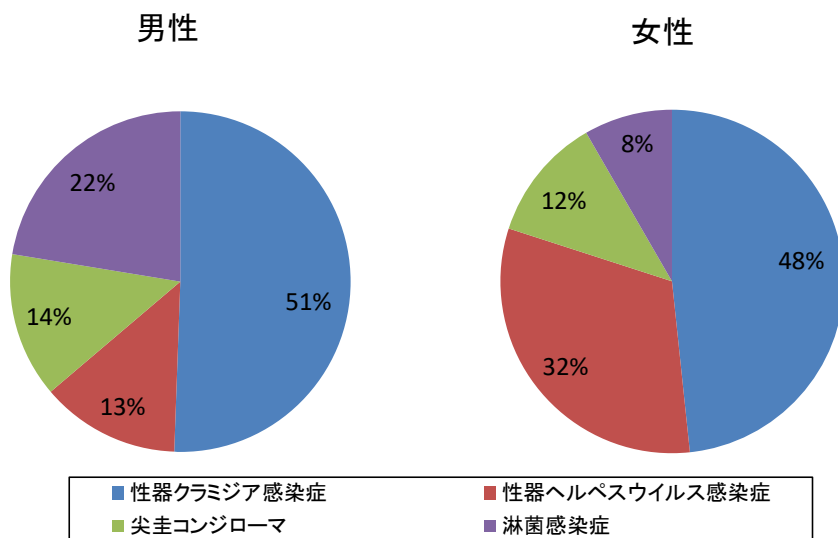


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり報告数(2023年9月)

